

2024年度 二チキッズ郡山エスパル保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月14日（火）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年3月3日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	異年齢での合同時、クラス毎どんな時でも全職員が子どもの最善の利益を第一に考え、子ども自身が大切にされていると感じ、他者への信頼感が育つように寄り添いながら、温かい保育を意識した。また子ども自身が選択できる機会を作り、気持ちを尊重することができた。
子どもの発達援助	クラス毎の細かい計画に基づき、全職員一丸となり話し合いと意見交換を重ね、共通理解のもと、同じ方向性で援助することで、その子らしさを大切にすることができた。
保護者に対する支援	園が相談しやすい場、保育者が相談しやすい存在であるよう、日常の様子を丁寧に伝えあうことで悩みを共有し一緒に成長を喜び合うことを日々積み重ねた。また、寄り添いながら前向きに楽しく子育てや保育をする喜びを分かち合うことができた。
保育を支える組織的基盤	職員間において保育の姿に学びの意識を持ち、意見交換やコミュニケーションを大切に、一人ではなく全員で支え合いながら楽しい保育を行った。また、園内研修や園外研修で得たものを情報共有し、即実践へ活かす組織風土を醸成できた。

総評
駅前ならではの、ここでしか体験できない行事や戸外活動、地域の方との交流やワンフロアの温かみのある雰囲気大切に「明日はどんなことをするんだろう？」とワクワクできるような保育を心掛けた。子どもと保護者はもちろん、働いている職員自身も楽しく安心して通える保育園を目指し、常に変化している社会に対応するよう研修や学びを深め、知識と保育の質の向上に努めた。今後も、保育園の雰囲気を維持しながら子どもたちがおもいっきり遊び、学び、のびのびと個性を發揮できるよう、保護者と共に一番近くで成長を見守っていく。